

ヒラタキクイムシ

ヒラタキクイムシ発生時期

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
←				→							

2010年の5月、当所に2件の相談がありました「乾燥木材の害虫」を紹介します。

家屋や家具等の乾材を食べる甲虫類の虫です。日本では6種類が知られています。

代表種はヒラタキクイムシで、成虫は5月ごろからあらわれ、乾燥に強く、夜に活動をします。



生態

年1回の発生です。

成虫は木材の中に卵を産み、孵化（ふか）した幼虫は10月末まで乾材の中を食べて孔（あな）を開けます。そのまま越冬（えっとう）して次の春がくると再び、乾材を食べ、4月から5月ごろ、乾材の中で蛹（さなぎ）となり、約10日後、成虫となって羽化（うか）します。



ヒラタキクイムシ成虫

体長 : 2~7mm

(写真 上: 背面, 下: 腹面)

■ 触覚は先端3節が大きい

被害

ラワン、ナラ、カシ、キリ、タケなど多くの乾材に被害を与えます。厚さ数ミリのベニヤ板の中にも穿孔（孔をあけること）しますので、天井板、壁板、建具などが被害にあいます。

木材や竹材の中に産卵され、孵化（うか）した幼虫は木材にふくまれるデンプンを栄養として食べ進み、木材の内部に空間をつくっていきます。

かじりカスや糞が白色の粉となり、約1から2mmの円形の小さい穴から外に少しずつ出します。

一般家庭でも小さい孔が開き、その下に木粉が落ちていることで気づくことが多いようです（下のイラスト参照のこと）。これは羽化の脱出時に、たくさん木粉が出されるためです。



こんな場所をみつけたら注意！！



➡ 約2mmの孔



➡ 木粉の山



被害を受けた木材（ラワン材）
（多数の孔があいている）

防除方法

薬剤による防除は、材の深い所にいる幼虫に対しては難しく、幼虫が表面近くに移動する11月以降と、成虫が羽化する3から4月ごろが有効とされていますが、処理すべき場所を見つけることは簡単ではありません。

家庭での防除は、ピレスロイド系殺虫用スプレーを孔の口に吹きつけるのが有効です。

同一材を繰り返して食べたり、外部から侵入して産卵することもあるので、早期発見が重要です。

■ その他のククイムシたち

- ケヤキヒラタククイムシ
- ナラヒラタククイムシ
- ケブトヒラタククイムシ
- アラゲヒラタククイムシ

【体の特徴】

- 小型（茶褐色）
- 扁平な形



アラゲヒラタククイムシ成虫

体長：約2mm

主にラワン材を食べる



拡大中の外来種

アフリカヒラタクイムシ

西日本を中心に東海地域まで被害が拡大している種です。

日本全国に分布しているヒラタクイムシよりも生活環境に対する適応する能力や繁殖する能力も高いといわれています。

生態

昼間活発に活動をします。成長の体長は、2.5mmから4.0mmとヒラタクイムシ（成虫の体長：2.0mmから8.0mm）よりもひとまわりほど小さいです。

☆下線部分は、ヒラタクイムシと違う点です。

被害

被害は新築だけでなく、築10年経過をした住宅まで広がっています。被害の発生時期は6月が多く、7月まで続くといわれています。

防除

『ヒラタクイムシ』を参照してください。

<参考図書>

1. 日本家屋害虫学会 編集 : 井上書院 家屋害虫2 (1988)
2. 松崎沙和子 武衛 和雄 共著 : (株)朝倉書店 都市害虫百科 (1993)
3. 日本家屋害虫学会 : 井上書院 家屋害虫辞典 (1995)
4. 山梨県福祉保健部衛生薬務課 衛生公害研究所 : 日常生活と周辺の虫たち (2001)

<参考>

キクイムシ以外の乾材などを食べる甲虫類の虫たち

チビタケナガシクイ

竹製品の害虫です。
世界中に分布している小さい甲虫類で、日本には
14種類が記録されています。



チビタケナガシクイ成虫
体長 : 約3mm

生態

年4回発生します。成虫は15℃以上で活動をはじめます。竹材の割れ目や断面から穴をあけ侵入し、交尾・産卵をおこないます。孵化幼虫は竹材中のデンプンを食べて成長し、孔道（こうどう）を掘っていきます。

越冬は竹材の中で幼虫や成虫などのさまざまステージでおこなえます。

5月ごろ母親が産卵のために開けた孔などから羽化（うか）後、脱出します。

被害

3月から11月にかけて竹材、竹製品を食べて被害を出します。普通は竹の乾燥材に限られます。（マダケ、モウソウチク、ハチク、メダケなどの種類にはあまりいません。）

成虫は各種木材、米、トウモロコシなどの穀類、干し芋、乾果、タバコ、書籍など多くのものに穿孔（せんこう：穴をあけること）することがあります（増えることはできません）。塩化ビニル被電線の被害も報告されています。

予防・駆除

倉庫や作業場内の竹材に虫が発生する場合があります。竹材が熱に対して強いものは、加熱して虫を殺しましょう。有機リン系殺虫剤も有効です。

■ その他のナガシクイムシ

- オオナガシクイ

幼虫、成虫ともにラワン材を食べます。成虫は8.5 mmから15.5 mmの大きさです。詳しい生態は不明です。

<参考図書>

1. 日本家屋害虫学会 編集 : 井上書院 家屋害虫 2 (1988)
2. 松崎沙和子 武衛 和雄 共著 : (株)朝倉書店 都市害虫百科 (1993)
3. 日本家屋害虫学会 : 井上書院 家屋害虫辞典 (1995)
4. 山梨県福祉保健部衛生薬務課 衛生公害研究所 : 日常生活と周辺の虫たち (2001)